

科目名	ストレングス&コンディショニング実技2							年度	2026	
英語科目名	Strength and Conditioning Theory 2							学期	後期	
学科・学年	スポーツトレーナー科三年制	1年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	角・野尻		教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		
【科目の目的】 トレーニング指導者として必要なトレーニング実技を学びます。 NSCA-CPT、JATI-ATI必須科目										
【科目の概要】 プライオメトリクス実技方法、パワー系の種目であるハングクリーン、パワークリーン、ジャークについての、トレーニングのプログラム作成のための知識を学びます。 NSCA-CPT、JATI-ATI必須科目です。										
【到達目標】 A. 各種トレーニング（プライオメトリクス、スピードトレーニング、アジリティトレーニング）の実践ができる B. 各種トレーニング（プライオメトリクス、スピードトレーニング、アジリティトレーニング）のプログラムデザインができる C. クリーン&ジャークの実践ができる										
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。学校指定ウェア着用。教科書は必ず持参。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 もう少し			
到達目標 A	全てのプライオメトリクスの実践ができる		下半身、上半身、体幹のプライオメトリクスをそれぞれ概ね実践できる				下半身、上半身、体幹のプライオメトリクスのうち、1部位のプライオメトリクスの実践ができる			
到達目標 B	プライオメトリクスのプログラムデザインができる		下半身、上半身、体幹のプライオメトリクスのプログラムデザインがそれぞれ概ねできる。				下半身、上半身、体幹のプライオメトリクスのうち、1部位のプライオメトリクスのプログラムデザインができる			
到達目標 C	クリーン&ジャークの実践ができる		ファーストプル、セカンドプル、キャッチまでの動作ができる				セカンドプルからキャッチまでの動作ができる			
到達目標 D										
到達目標 E										
【教科書】 テキスト・配布資料										
【参考資料】 トレーニング指導者テキスト「実践編」										
【成績の評価方法・評価基準】 授業ごとのリアクションペーパー 実技試験（クリーン&ジャーク） レポート課題（プライオメトリクスのプログラムデザイン） <input type="checkbox"/>										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		ストレンクス&コンディショニング実技2			年度	2026
英語表記		Strength and Conditioning Theory 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	授業内容・試験についての理解	1 授業の進め方	授業実施上の注意点	1	
			2 授業内容の理解	日程・内容の理解		
2	プライオメトリクス	下半身のプライオメトリクスを学ぶ	1 下半身のプライオメトリクス実践①	実際にトレーニングを実践し動きを理解する	2	
			2 トレーニング後の振り返り	目的に応じたトレーニングの実際を振り返り理解する		
3	プライオメトリクス	上半身のプライオメトリクスを学ぶ	1 上半身のプライオメトリクス実践①	実際にトレーニングを実践し動きを理解する	2	
			2 トレーニング後の振り返り	目的に応じたトレーニングの実際を振り返り理解する		
4	プライオメトリクス	体幹部のプライオメトリクスを学ぶ	1 目的に応じたメニュー作成	資格に関わる教本を参考にトレーニングメニューを立てる	2	
			2 トレーニング実践	実際にトレーニングを実践し、動きを理解する		
			3 トレーニング後の振り返り	目的に応じたトレーニングの実際を振り返り理解する		
5	スピードトレーニング/アジリティトレーニング	プライオメトリクスのプログラムデザイン	1 スタート局面と加速局面	スタート局面と加速局面について理解する	2	
			2 最大スピードの局面	最大スピード発揮について理解する		
			3 減速や停止、加速	スタート局面と加速局面について理解する		
6	スピードトレーニング/アジリティトレーニング	スピードトレーニングの基礎	1 スタート局面と加速局面	スタート局面と加速局面について理解する	2	
			2 最大スピードの局面	最大スピード発揮について理解する		
			3 減速や停止、加速	スタート局面と加速局面について理解する		
7	スピードトレーニング/アジリティトレーニング	スピードトレーニングの実際	1 方向転換	カッティング動作について理解する	2	
			2 反応機能と認知機能	反応機能、認知機能について理解する		
8	スピードトレーニング/アジリティトレーニング	体幹部のプライオメトリクスを学ぶ	1 スプリントトレーニングの実査	実際にトレーニングを実践し動きを理解する	2	
			2 アジリティトレーニングの実際	実際にトレーニングを実践し動きを理解する		
9	パワークリーン	ハンγκクリーンについて学ぶ①	1 ハンγκクリーンの基本姿勢（ファーストブルの習得）	ヒップヒンジの姿勢から立位になるまでの身体の動きを理解する バーベルを使ってファーストブルの基本動作を行える	2	
10	パワークリーン	ハンγκクリーンについて学ぶ②	1 ハンγκクリーンの基本姿勢（セカンドブルの習得）	バーベルを使用。ヒップヒンジの姿勢から反動を使ってバーベルを顎まで挙上できる	2	
			2	挙上したシャフトを適切な位置（肩）でキャッチできる		
11	パワークリーン	パワークリーンについて学ぶ	1 パワークリーンの基本姿勢を学ぶ	ファーストブルから、セカンドブルまでを行える	2	
12	パワークリーン	ブッシュジャークについて学ぶ	1 ブッシュジャークの基本動作を学ぶ	キャッチできたバーベルを頭上へ挙上することができる	2	
13	パワークリーン	ブッシュジャークについて学ぶ	1 ブッシュジャークの実践	キャッチできたバーベルを全身の反動を使って頭上へ挙上することができる	2	
14	パワークリーン	クリーン&ジャークについて学ぶ①	1	ファーストブルからセカンドブル、キャッチまでの一連の動作をする	2	
			2	クリーン&ジャークの実践		
15	パワークリーン	クリーン&ジャークについて学ぶ②	1	ファーストブルからセカンドブル、キャッチまでの一連の動作をする	2	
			2	クリーン&ジャークの実践		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等